



### 南国歌壇

業草がうたひしみちとわがみちと  
交はるらしも秋の風吹く  
派改田 清水愛川  
昨夜降りし秋雨に葉の青々と  
ぬれていのちの光りやさしき  
植野 中司愛子  
情性にも似たる女の性みせて  
ゆで葉の根もと揃へては切る  
立田 島田美津子  
我老いて十九春花の意気なるも  
忘るる事の多きまどふ  
立田 清岡照子

### 南国俳壇

ねこじゃらし一雨ほしと書きそえる  
熱帯夜うけは蜂が鳴きそうな  
水郷の静寂乱す時化とんぼ  
穂のなびき水におよべる真菰かな  
右左衛門 割菜園分寺  
布袋草隙間の水に月明し  
朝露の苔に浮かびし光かな  
秋風に吹かれ山門出る瀧路  
腰おろす石の温みや虫を聞く  
和田ひでみ(岩村句会)  
西本かよ子( )  
島崎流一( )  
市原遊電(波俳句会)  
溝渕さちえ( )  
大谷美寿( )  
林 広裕(梵鐘会)  
高橋 蛙( )  
竹内紀子( )

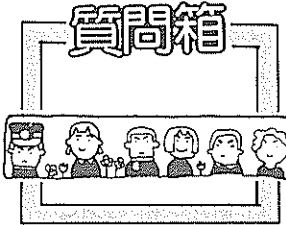
### 南国柳壇

語らえば皆家族なり隣り組  
今にして老いのひまあり学びたし  
立田 北村幸江  
借り易い所にあつた落し穴  
長寿を喜ばせませんと言う暮し  
後免町 隅田俊作  
淡味で家で食いたい手打そば  
植田 古本其梅

### 公民館の文化サークル

(問い)  
私の子供たちも一人前になり、  
私にも時間的余裕ができましたの  
で、趣味を生かして余暇を楽しみ  
たいと思っています。市の公民館

(答え)  
中央公民館事業では次の教  
室・サークルを行っています  
が、定員は各教室とも三十人  
程度で、いつでも入会を受け  
ています。  
民謡(毎週水曜日) 民謡全  
般、山崎千賀子マ盆歌(月二  
回程度) サツキ、松、菊など  
の初歩的な用土の作り方から



ではいろいろな文化サークル  
をやっていると聞きましたが  
どんなものがあるのか教えて  
いただきたいと思っています。  
一主婦

### 好評のドイツ粘土教室

ドイツ粘土でプロチヤやタイ  
ピンなどを作ってみませんか  
ドイツ粘土教室が、十月十三日  
と三十日、川井淑子先生(高知市  
大津東保育園々長)をむかえ、市  
立青年の家(立田)で開催され、  
約二十名が参加しました。  
このドイツ粘土は、西ドイツの  
合成樹脂でできており、油粘土の  
ように容易に創造でき、汚れる心  
配もなく、形や表情、色彩など思  
うように手ずさびが楽しめるもの  
です。  
これは、ストープやフライパン、  
オーブンなどで百二十度くらいの  
熱を加えるだけで固くなり、約二



マラソン

### 市役所前の陸橋を見て

市役所前の電車線路上に架けら  
れた陸橋には、いろいろな宣伝看  
板や、時に横幕が掲げられている  
こともある。毎日見慣れてる人  
にはあまり気にはならないかも知  
れないが、初めて通る人、特に県  
外人の眼には異様に映るのではな  
かるうか。時には、運転者がそれ  
に目を奪われて事故誘発ともなり  
かねない。  
明るいきれいな街づくりが叫ば  
れている時でもあり、すつきりす  
べきであろう。この際、全面的に  
標語や宣伝をとり除き、南国市役  
所を「即添書のうえ明示してはど  
うであろう。  
市の執行部の再検討のうえ、普  
処されんことを望むものである。  
一市民より

盆裁仕立てまでマ詩吟(毎週土曜  
日) 基本から、島村辰彦マ詩吟(毎  
週土曜日) 長崎抱月マ社交ダンス  
(毎週木曜日) 社交ダンスの初歩  
から、山内邦敏マ写真・写真の初  
歩から、撮影会も開催、水田貴士  
マ8・8の初歩から、島村辰  
彦マ書道(毎週月曜日) 書道の基  
本から、坂本正マコーラス(毎週  
月曜日) 童謡の基本から、坂本正。  
また、絵を描くサークル(洋画・  
第二、第四木曜日) 山崎次、でも  
指導をしています。なお、「焼物  
教室」と「料理教室」の日程など

が未定のため掲載していませ  
んが計画されています。  
また、後免町公民館でも次  
の日程で行われています。  
舞踊(毎週木、金曜日) 津  
野育子マ書道(毎月第一、第  
二、第三日曜日) 秋本純子マ  
華道(毎月第二、第四水曜日)  
川添秀子  
詳しいことは、中央公民館  
☎④3498、(4)4639、  
後免町公民館☎④0959へ。

十分くらいでできあがる簡単なもの。  
プロチ、お皿、カップなど  
意のままにできます。  
また、材料費は粘土、金具など  
一セット二百五十円と安価で、プ  
ロチなら五個はできます。参加  
した人たちは、「思ってたとおりの  
ものが簡単にできた。」「気持ち  
よく、みんなと心ふれあつて楽し  
くできた。」と、なかなか好評で  
した。



されておられ、時間はそれぞれ午後  
七時から九時までとなっています。  
だれでも参加できます。詳しいこ  
とは市役所社会教育課までどうぞ。



「ご家庭で話し合せて答えてくだ  
さい。答えは今月号の広報に出て  
います。」

香長中学校から千屋崎峠を越  
えたところに井川部落がある。  
ここは昔入交といつて、千屋崎  
峠から入江になっていたところ  
だが、今日では入交が井川とな  
っている。

この部落の西端、竹林のあた  
りに、流れ八幡様、という神社  
がある。これは三和の里から流  
れてきたのを返したところ、ま  
た同じ場所に流れてきたという  
奇妙な伝説を持つ神社で、戦前  
までは付近に人家もなくさみし  
いところだった。

日支事変から東軍にかけ  
ての話だが、出征軍人の武運長久  
を祈ってお通夜をする、夜半  
決ったようにお堂がツルツルと

### 流れ八幡様



からのことかわからない。蜂が巣  
をかけていて夜中に騒いでいる。  
むこうの海を通る船の響きが山に  
反響して鳴っている。妖怪の仕業

長時間音をたてて揺れた。「参会  
者一同、恐怖のあまりひれ伏し、  
お唱えをあげる者もいる。どうし  
て音をたてて震動するのか、いつ  
の参拝者が多くなつた。  
私も一夜お通夜に参加したところ、  
十一時頃になるとどこからとも  
なくツルツルと揺るぎ始めた。  
「地震とは違う。お堂の奥の方か  
上の方で鳴っているようでもある。  
揺れよりもツルツルと音が耳に響  
き気味悪い。勇気を出して懐中電  
灯を持ち外に出た。寒い冬の深夜  
だった。内部の音は少しも感じな  
い。怖いものに引かれるように一  
巡すると静寂そのものである。後  
から妖怪が何かにグツと首を締め  
られそえうす気味悪い。お堂に

帰ると相変わらずツルツルの音  
は続いていた。そのうちいつと  
もなく止んだ。(約十五分くらい  
か。)  
これは何のために鳴動してい  
たのか、今でも同じだろうか。  
昭和十二年頃の奇妙な実話であ  
る。私は奉職して間もなく満州  
に渡った。転変四十有余年……  
人変り時代は移ったが、古びた  
神社はそのままである。今は誰  
も話題にする者もない。  
■これは、稲生井川部落の松  
岡重俊さんから寄せられた原稿  
を一部掲載したものです。  
みなさんの部落に面白い話が  
あれば原稿をおよせください。

- 第八十五回正解者発表
- こたえ・⑩月二十九日でした。
- 特賞・千内川三人
- 谷 謙一くん(岡豊町小笠)
- 依光忠良さん(大田)
- 岡林美奈子さん(大田)
- 残念賞・記念品⑤五人
- 窪添正隆(岡豊町瀧本) 竹村貞夫(久礼田) 島井麻里(左右山) 高橋佐知(植野) 桑名多世(大田) おめでとうございませす。これからもう少しご応募ください。

